

STI 予防教室アンケートによる 現状調査

○小野由可、板橋匠美、生井智子、生田理沙、
四方田友希、西村泰歩、三橋 太

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 STI予防委員会

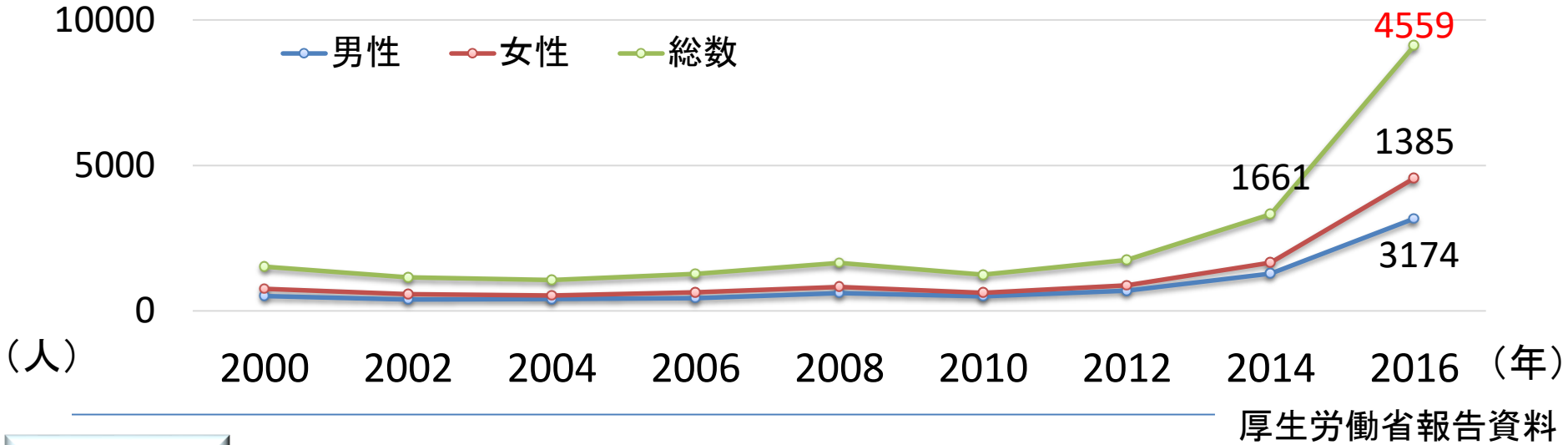
利益相反の有無：無
演題発表に関連し、開示すべき COI関係にある企業はありません



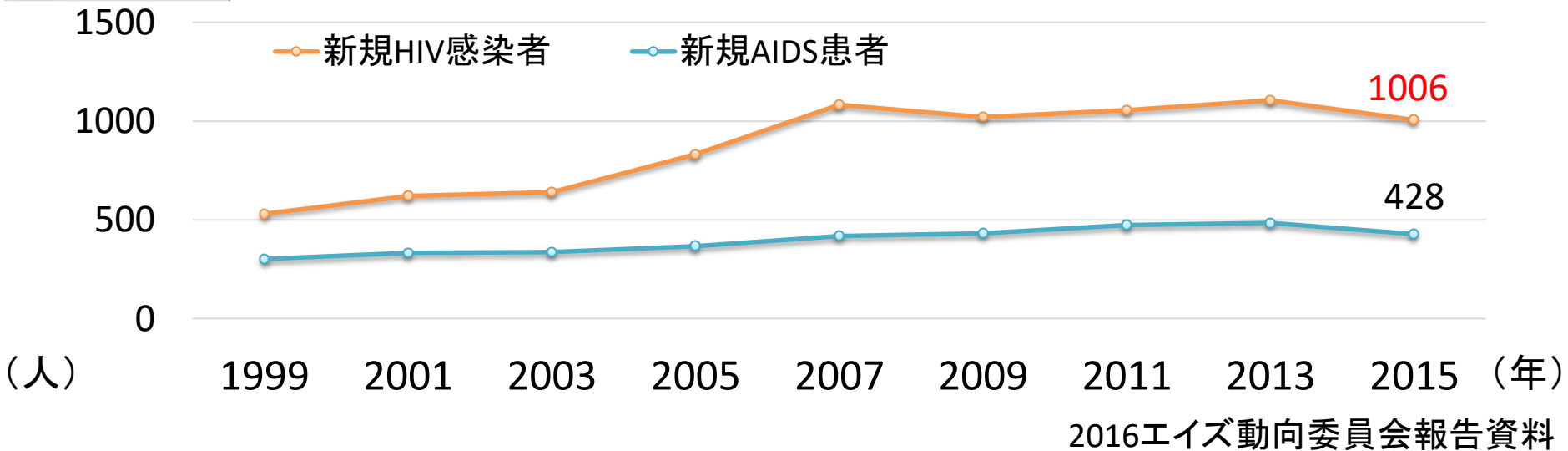
新規報告者の年次推移

梅毒

梅毒は近年急激に増加傾向にあり、HIVは1,000人/年を超える。

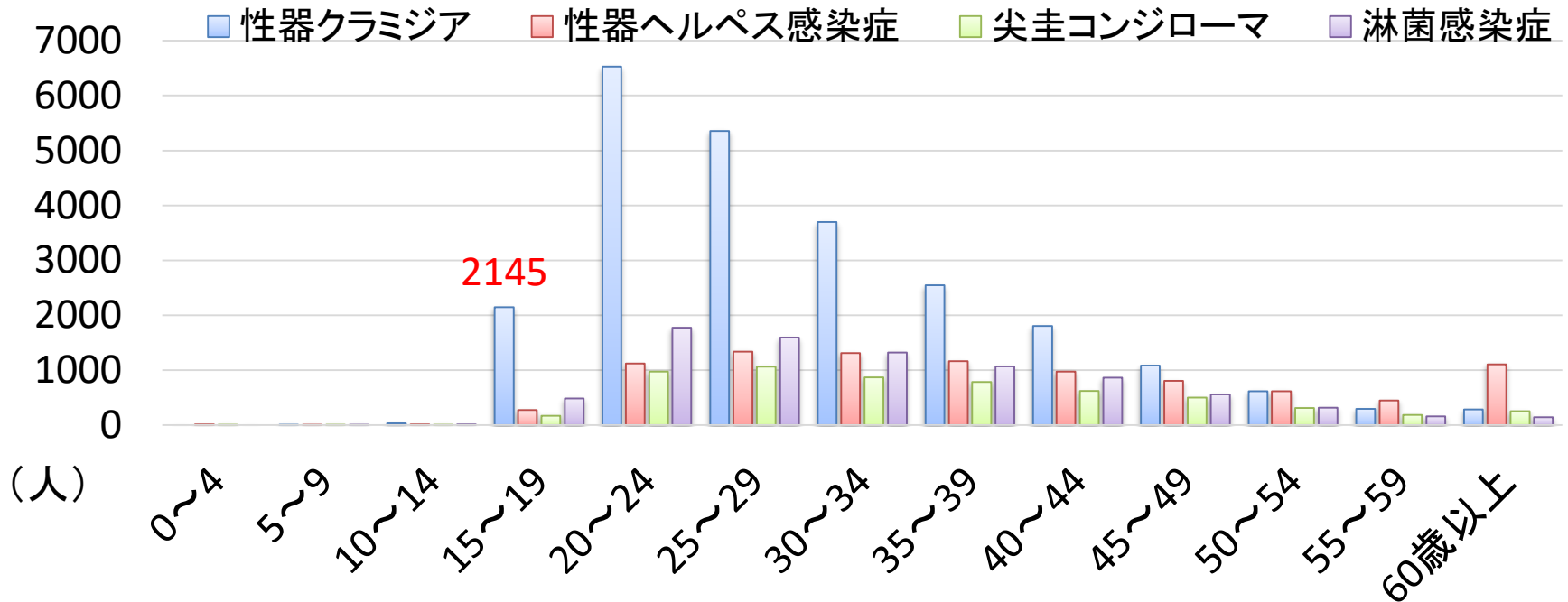


HIV/AIDS



年齢別性感染症報告数(2016年)

年齢別では性活動の活発になる10歳代後半から20～30歳代の報告数が多い。



感染症発生動向調査

これら状況より、わが国の教育カリキュラムにおいても、“性感染症の予防/エイズ”については単元として指導計画が組まれることとなっている。

➡ 学校では外部講師を起用した授業をおこなうなど工夫をしており、
当会でも依頼を受けることで、教育の補助としてSTI予防教室を行なっている。

調査目的

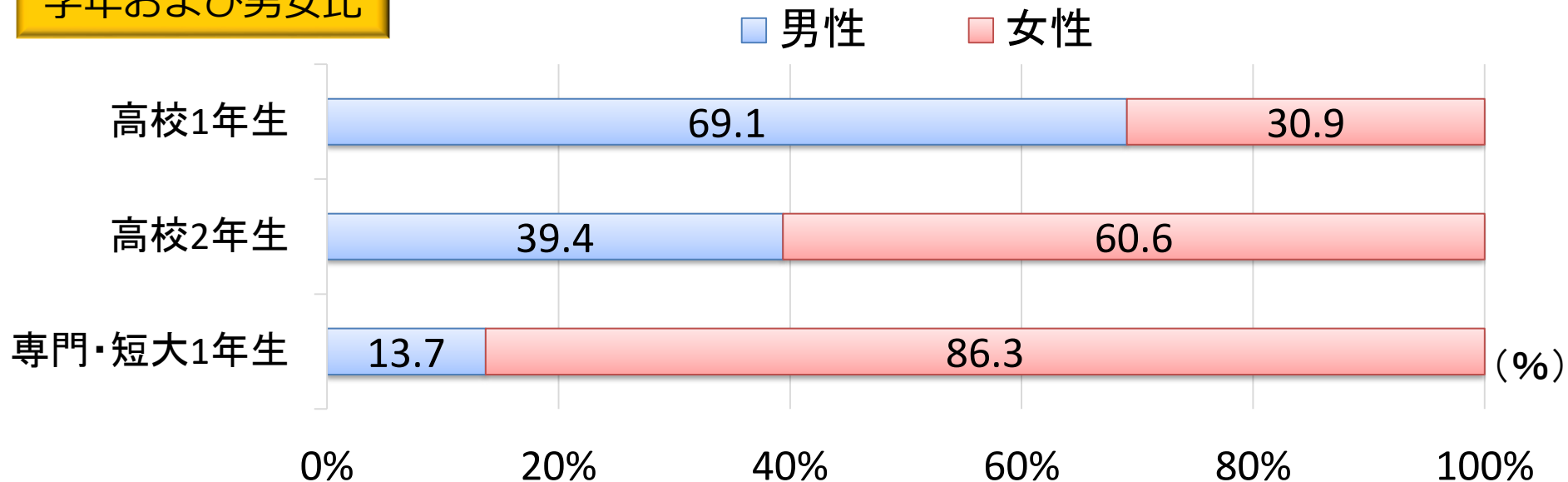
予防教室講演後のアンケートにより、
講演内容の改善を図るため
STIの授業における理解度と関連する情報を
調査したので報告する。

アンケート協力学校の内訳

2016年に東京都内で予防教室を行った 938 名

高等学校	1年生	337名
	2年生	477名
医療系専門・短期大学校	1年生	124名

学年および男女比



アンケートを行なうにあたって

アンケートは学校の許可を得たうえで、予防教室後、学生に説明し承認後に行った。

※実際のスライドより抜粋⇒

今回の講演にあたって、記入してもらったアンケートおよび写真は学会、論文など学術的用途にて使用させていただきます。

※本調査でご回答いただいた情報については取り扱いに十分注意し、統計的に処理するとともに、上記目的以外に使用することは一切ございません。また、個人を特定することも一切ございません。



STI予防教室講義内容

※実際のスライドより抜粋

〔本日の内容〕

- ・臨床検査技師について？
- ・主な性感染症について
 - ① 性器クラミジア
 - ② AIDS/HIV
 - ③ 梅毒
- ・性感染症予防方法
- ・性感染症の検査について



実施状況の調査

設 問 項 目

問1 「STI予防教室」の内容は、わかりやすかったですか。

問2 「STI予防教室」の言葉の中でわかりづらい言葉はありましたか。

問3 性感染症における以下の項目について知っていましたか。

(クラミジア・AIDS・HIV・STIの種類は多い
・コンドームで予防できる・検査でわかる・完治できないものもある)

問4 性行為でうつる病気についての情報は何かから知りましたか。

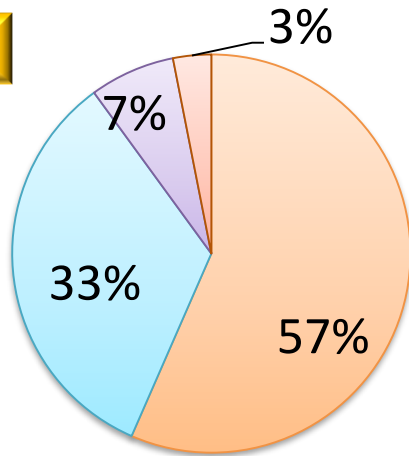
問5 性行為についての情報は何かから知りましたか。

問6 性行為を誘われたことはありますか。

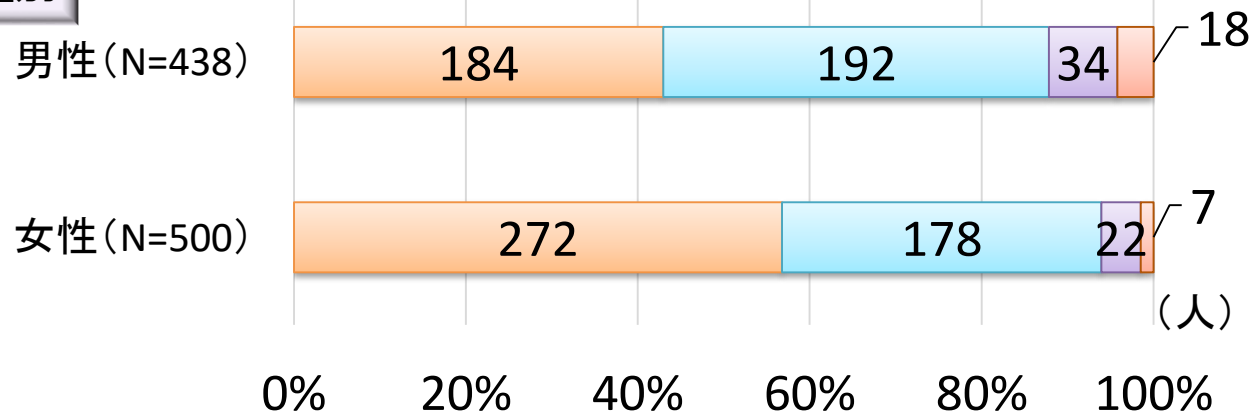
問1 「STI予防教室」の内容は、わかりやすかったですか。

“よくわかった”“なんとなくわかった”を合わせた場合、性別、年齢別においても、STIの授業の理解度は8割を超えている。

全体

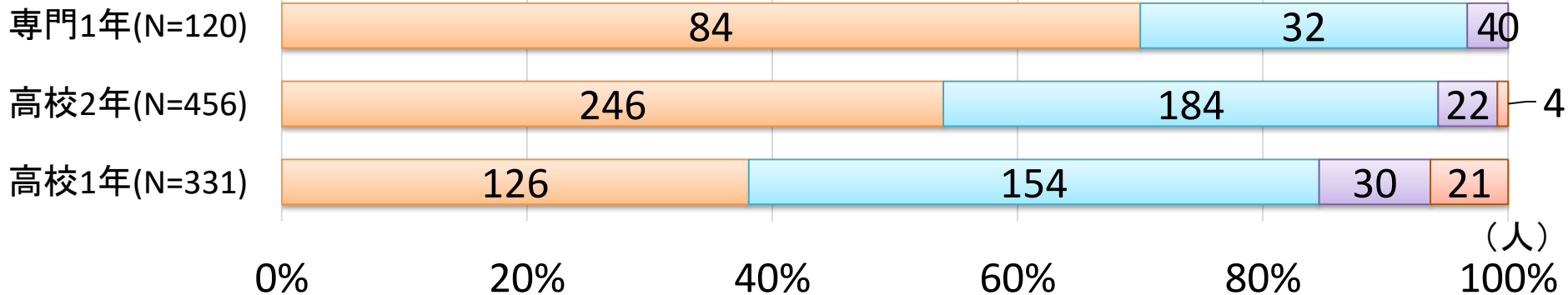


性別



学年別

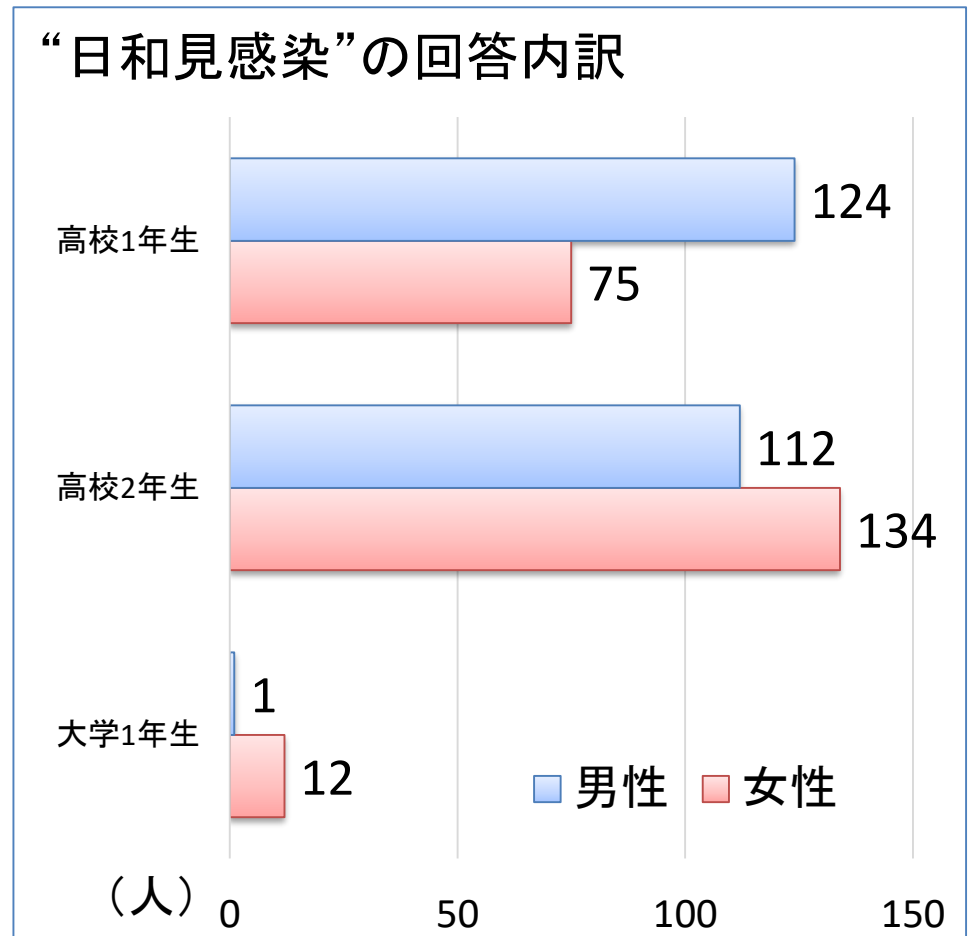
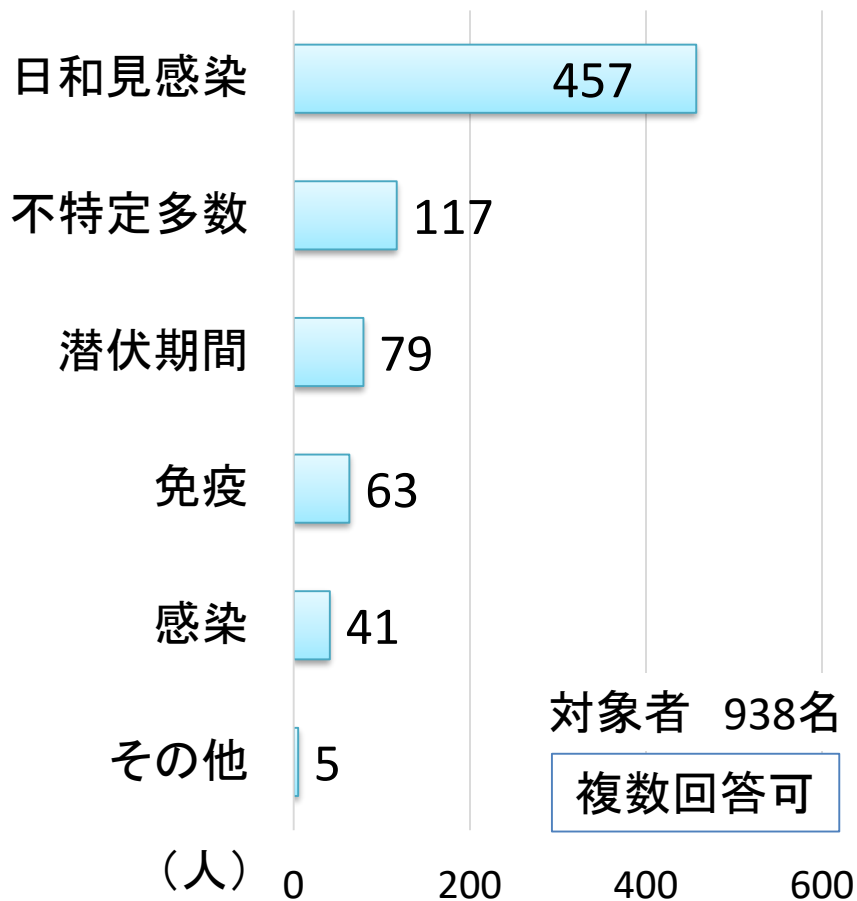
よくわかった なんとなくわかった 少し難しかった 難しかった



問2「STI予防教室」の言葉の中でわかりづらい言葉は？

わかりづらい言葉として、“日和見感染”が最も多く5割を超え、次いで“不特定多数”が多かった。

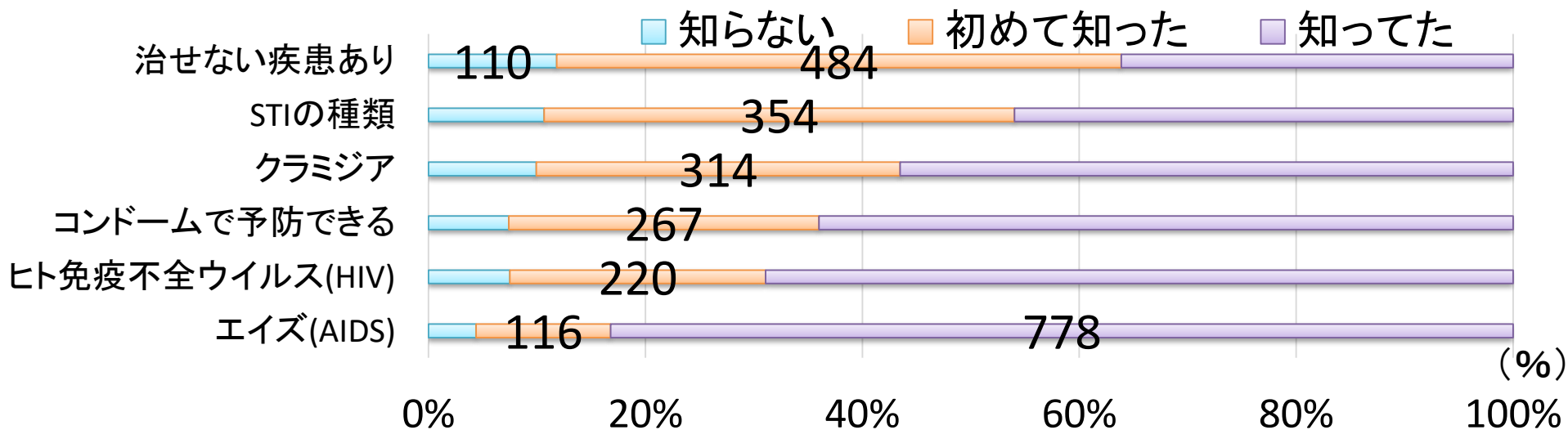
学年別では“日和見感染”は高校1、2年生までが大半を占める結果となった。



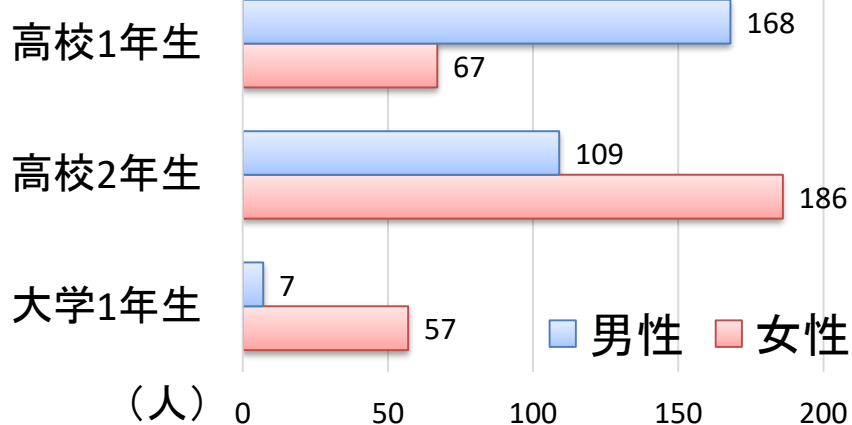
問3 性感染症で以下の項目について知っていましたか。

AIDSでは“知ってた”が8割を超えた。一方、治せない疾患ありで“知らない” “初めて知った”を合わせると6割を超える結果となった。

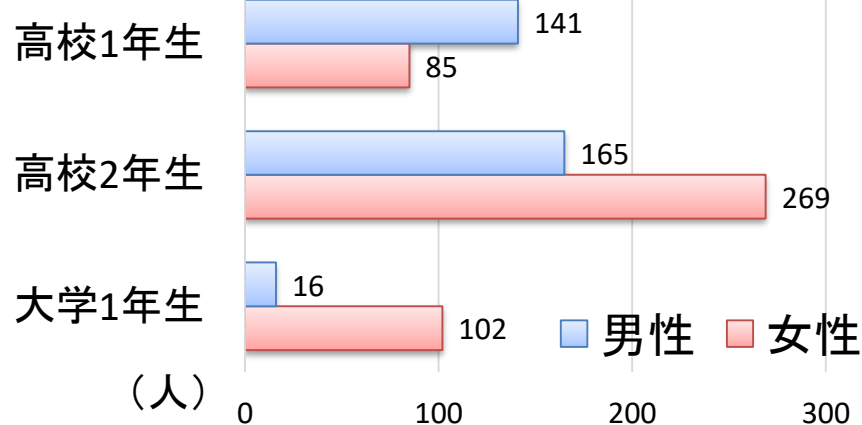
➡ 認知度の高い疾患においても、知識に偏りが認められる。



治せない疾患あり “初めて知った” “知らない” 回答内訳



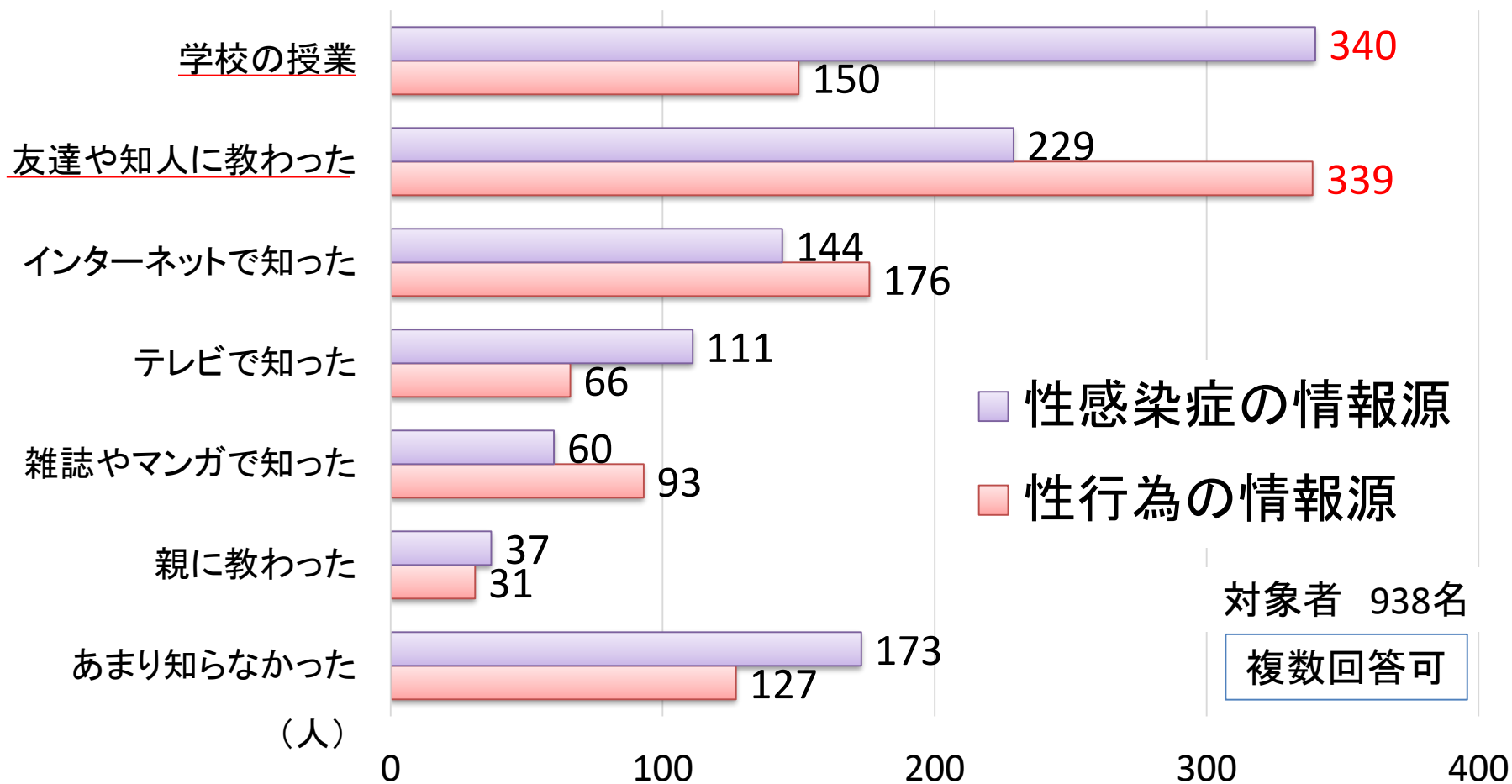
エイズ(AIDS) “知ってた” の回答内訳



問4 STIの情報は何から知りましたか。

問5 性行為についての情報は何から知りましたか。

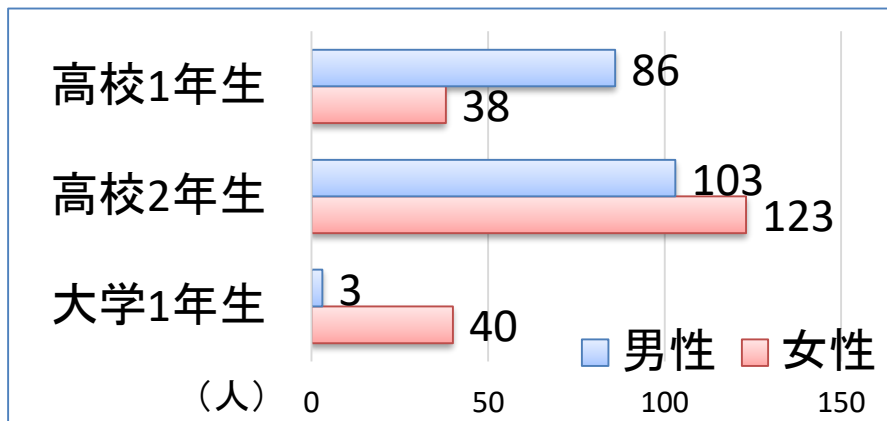
「学校の授業」では、“性感染症の情報源”としては3割を超えるのに対し、“性行為の情報源”としては2割を下回る。一方、「友達や知人に教わった」においては、逆の結果となった。



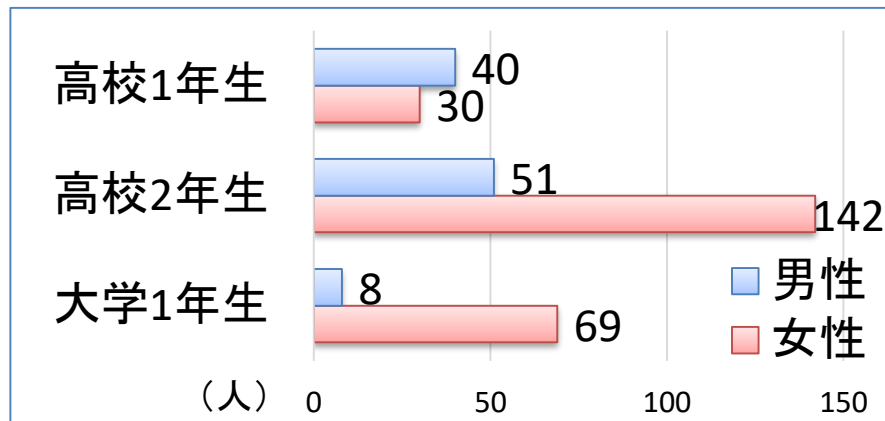
性行為とSTIにおける情報源の違い

高校男性において、性行為とSTIの情報が知識として定着する時期に差を認める。STIに関する情報でコンドームを装着することにおける感染症の予防効果について、「はじめて知った」と答えた高校2年生以下が約26%（938名中）。

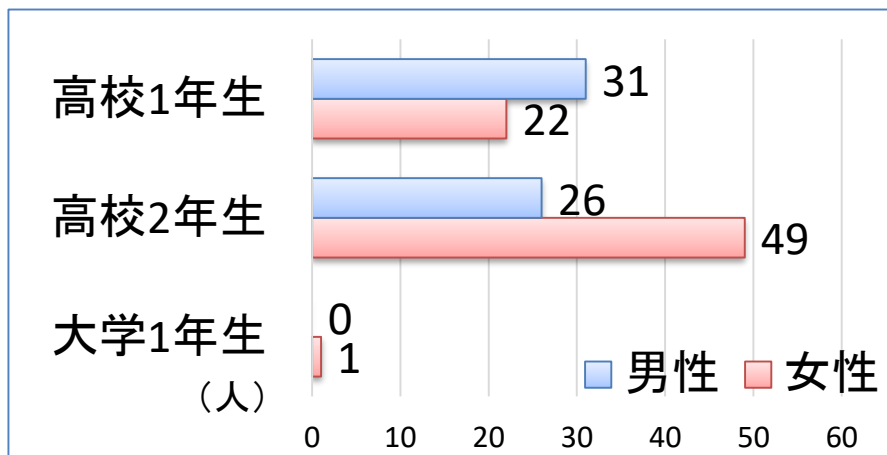
性行為の情報源“友達や知人”の回答内訳



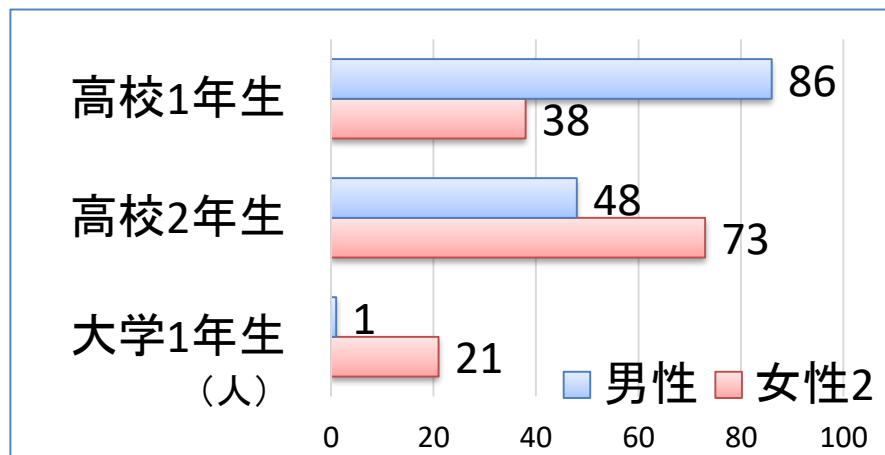
STIの情報源“学校の授業”の回答内訳



性行為の情報“あまり知らなかった”の回答内訳



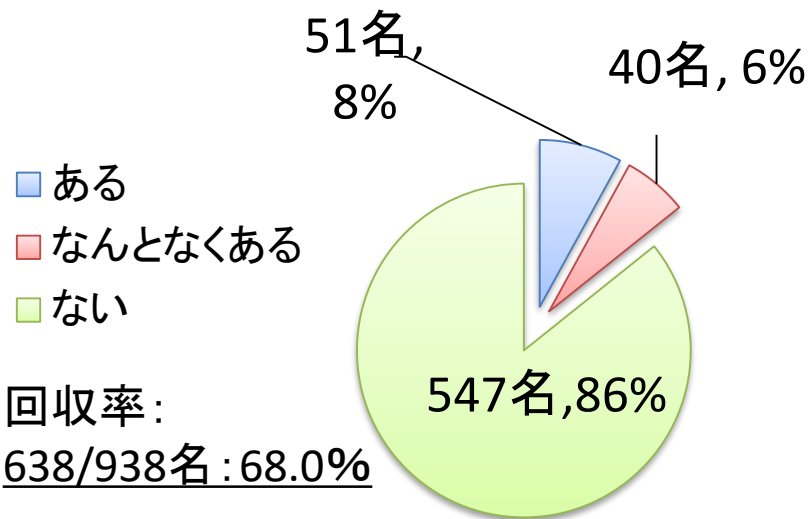
コンドームで予防できる“初めて知った”の回答内訳



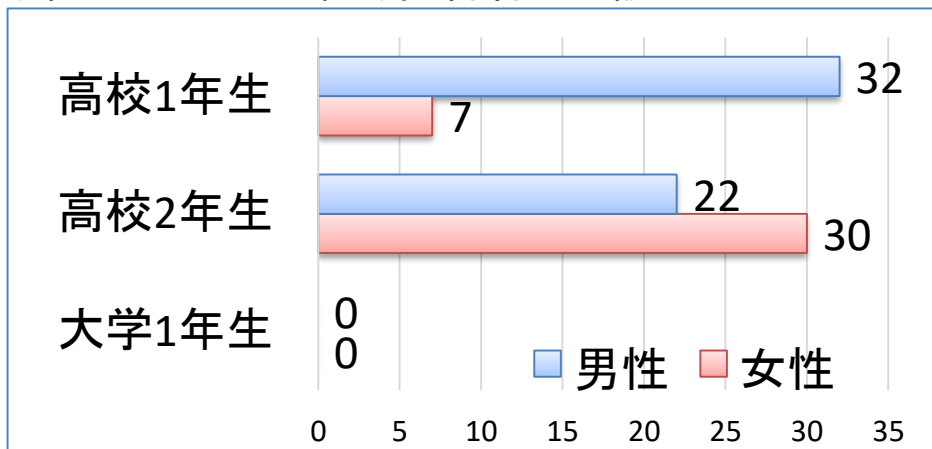
問6 性行為を誘われたことはありますか。

性行為を誘われたことのある時期と性に関する情報の定着の時期に差を認める。

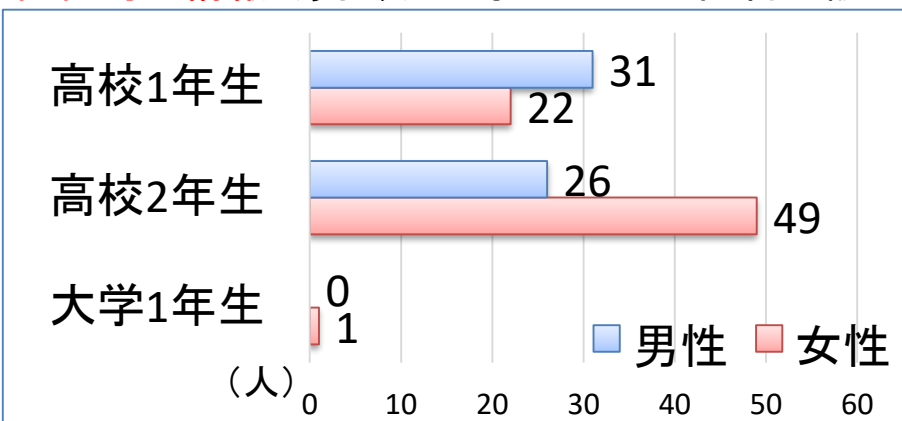
補うための情報を提供する必要がある。



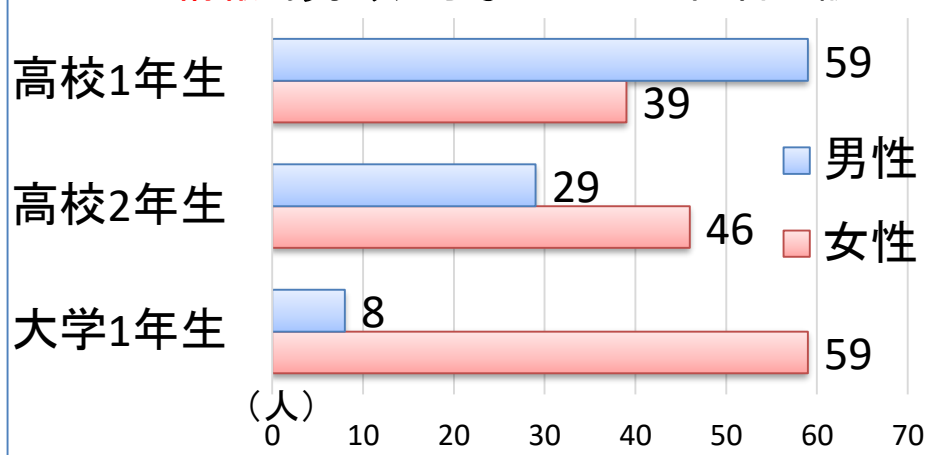
(ある・なんとなくある)回答者の内訳



性行為の情報“あまり知らなかった”の回答内訳



STIの情報“あまり知らなかった”の回答内訳

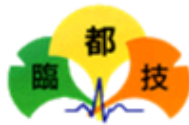


まとめ

- ✓ STIの授業の理解度は8割を超えている。
- ✓ STIとして認知度の高い疾患においても、知識には偏りが認められる。
- ✓ 性行為とSTIの情報が知識として定着する時期に情報を補うため、STI予防教室は必要と考えられる。

ご清聴ありがとうございました。

○小野由可、板橋匠美、生井智子、生田理沙、
四方田友希、西村泰歩、三橋 太



公益社団法人 東京都臨床検査技師会
Tokyo Metropolitan Association of Medical Technologists

STI予防委員会

toringisti@tmamt.or.jp